

# 緑のカーテン

(ゴーヤ編)

さやま環境市民ネットワーク 温暖化分科会



家の南側にネットを張り、ゴーヤを這わせたのが左の写真です。簡単に緑のカーテンを作ることができます。

ネットの幅は4 m、高さは2階のベランダまで。ネットの左右の端から内側 50cm のところに植えた2本の苗から出たつるでネット全体が覆われます。

植えたのはあおゴーヤとしろゴーヤ。



もうちょっと正面に近いアングルからの写真です。葉の密集の具合がわかります。

内側には、ほとんど日の光が差さないほど折り重なって葉が茂ります。

左半分が、あおゴーヤ、右半分が、しろゴーヤ。葉っぱでは区別が付きません。



もちろんたくさんの実がなります。

左の写真はあおゴーヤの実で、丁度食べごろ。

もう少し日にちがたつと先端のほうから黄色になり、さらに日にちがたつと縦に裂けて、真っ赤な種が見えるようになります。



左の写真はしろゴーヤの実で、こちらも食べごろ。

日がたつと黄色くなり、更に日がたつと縦に裂けて、真っ赤な種が見えるようになるのはあおゴーヤと同じです。



ゴーヤと一緒に朝顔を植えると、朝顔の花のもつ独特の雰囲気も楽しむことができます。



つるの先端の成長は非常に早く、常に希望するカーテンの大きさに収まるように切っていないと、すぐ屋根の方まで行ってしまいます。



ゴーヤの花は、朝開き、夕方にはしぼんでしましますが、花の咲いた朝は、とても良い香りが漂います。



モンシロチョウの仲間、セセリ蝶の仲間、アゲハ蝶の仲間、蜜蜂、虻などたくさんの訪問者が身近で見られるのも楽しみのひとつです。



肝心の効果ですが、日の当たるところと、カーテンの陰になるところとでは室温に4℃くらいの差があります。緑のカーテンの効果で、夏クーラーを使用する頻度を減らすことができます。



つるものネット

すくすく竹

PP ロープ

アンカー

緑のカーテンは6月中旬から9月中旬まで。ゴーヤを外した後はネットだけ。冬の日の邪魔にはなりません。

使った材料は、

- ① つるものネット
- ② すくすく竹
- ③ PP ロープ
- ④ アンカー

いずれもホームセンターで手に入り、材料費は3,000円弱でした。

タキイ種苗のカタログによると、ゴーヤには次のような種類があるようです。

太れいし	果実の長さは約15cmくらいで胴が長い。サイズの揃ったものが収穫でき、立体栽培に適する。
白れいし	果実は白色でパールのような輝きで美しい。苦味が薄くなじみやすい味で、立体栽培に適する。
島さんご	大型の品種で果実の長さは20cmから25cm。比較的乾燥に強い。
さつま大長れいし	果実の長さが35cmで両端が紡錘状にとがる。立体栽培に適する。

この分類によると、写真の説明であおゴーヤといったのは太れいし、しろゴーヤといったのはしろれいしでしょうか。